



さあ、答え合わせをしよう!

第49週目 行ってみよう～富山県(とやまけん)からの出題

※ココを見てね! ▶行ってみよう～富山県(とやまけん)

1. 富山県(とやまけん)は、海に面しています。さて、その名前は何かな?

正解:②日本海(にほんかい)

富山県(とやまけん)は、山に囲(かこ)まれた地域(ちいき)で、北に日本海があります。正解は②。県の特徴(とくちょう)を読めばわかりましたね。山と言っても3,000メートル級の大きな山々が連(つら)なっているため、とくに大昔は、地形的(ちけいてき)に人が暮(く)らしにくかったようだね。

2. 最近になって、遺跡(いせき)がたくさんみつかっているのはなぜ?

正解:①発掘調査(はくつちょうさ)の数がふえたから

日本の遺跡(いせき)は、日本海側より太平洋側の方がたくさん調査(ちょうさ)されています。だから、遺跡(いせき)の数もあたりまえに少なかったのですが、新幹線(しんかんせん)の開通(かいつう)や高速道路(こうそくどうろ)をとおす工事(こうじ)をする前に必要な発掘調査(はくつちょうさ)をしてみると、そこには弥生時代(やよいじだい)や古墳時代(こふんじだい)のものがいくつもみつかるようになりました。正解は、①発掘調査(はくつちょうさ)の数がふえたから。これからも、あらたに、おもしろいものが発見(はっけん)されるかもね!

3. 富山県から遠(とお)い青森県でとれた黒曜石(こくようせき)がみつかった遺跡(いせき)はどこかな?

正解:③立美遺跡(たつみいせき)

正解は「お宝ベスト5」1つ目、③立美遺跡(たつみいせき)です。旧石器時代(きゅうせつきじだい)後期の石器(せっき)は、科学分析(かがくぶんせき)によって、どこの黒曜石(こくようせき)かがわかりました。富山県(とやまけん)から約540 kmはなれた、青森県深浦(ふかうら)の良質(りょうしつ)な黒曜石です。車も電車もなかった大昔に、ずいぶん遠(とお)いところまで移動(いどう)しても欲しいと思える、美しさだったのでしょ。

4. 朝日貝塚(あさひかいづか)から出土した、国の重要文化財に指定されているお宝は何かな?

正解:②ヒスイ

「お宝ベスト5」3つ目で紹介(しょうかい)しているよ。正解は、②ヒスイ。写真にもあるように、「大朱(たいしゅ)」とよばれる垂飾(たれかざ)りです。ちなみに、日本列島(れっとう)には活火山がたくさんあるけれど、ダイヤモンドという、ラッパのような形をした噴火口(ふんかこう)がないためダイヤモンドは採れないとされていました。しかし2007年に愛媛県(えひめけん)の四国山地の火山岩(かざんがん)から、わずか10ミクロンという目で確認するにはむずかしい大きさのダイヤモンドが発見されました。富山県(とやまけん)ほか日本では一部の地域(ちいき)でコランダムという鉱物(こうぶつ)の変種(へんしゅ)が産出(さんしゅつ)されます。サファイアです。この石の色が赤いものをルビーとよびますが、とても稀少(きしょう)でなかなかみつきません。

5. 若宮古墳(わかみやこふん)は、県内で一番古い埴輪をもつ古墳です。みつかった珍しいものは何ですか?

正解:②円筒埴輪(えんとうはにわ)

富山県(とやまけん)のMAPで「若宮古墳(わかみやこふん)」をクリックすれば、遺跡(いせき)が紹介(しょうかい)されていますね。正解は、②円筒埴輪(えんとうはにわ)。有力者(ゆうりよくしゃ)の墓(はか)ほど、埴輪(はにわ)や副葬品(ふくそうひん)がみつかることは知ってるよね。埴輪(はにわ)が出土(しゅつど)したのは、県内(けんない)では唯一(ゆいいつ)のこと。この古墳(こふん)は、いまの石川県(いしかわけん)との境(さかい)にあり、近くの「小矢部ふるさと歴史館」で埴輪(はにわ)を展示(てんじ)しているので、見に行ってみてね。